

第18回田原市市民協働まちづくり会議議事録要旨

日 時	平成26年6月25日（水）18:00～19:55
場 所	田原市役所南庁舎6階 600会議室
出席者	会長／鈴木誠、副会長／富田育男、委員／伊藤伸浩、藤城充章、酒井修、本多智映子、山本かすみ、安田幸雄、中村匡
欠席者	中川睦夫委員
議事録署名者	本多智映子委員、山本かすみ委員
事務局	市民協働課／鈴木課長、彦坂副主幹、仲井主事補
議 題	(1) 会長・副会長の選任 (2) 市民協働まちづくり会議の経緯等について (3) 田原市の市民協働まちづくり方針について (4) 市の機関の取り組みについて (5) 平成26年度市民協働事業について (6) 意見交換
決定・検討事項	○会長は、鈴木誠委員に決定(酒井委員の推薦により全会一致) ○副会長は田原市地域コミュニティ連合会理事の富田育男委員に決定(鈴木会長指名) ○市の支援制度を活用してもらえるように募集内容等を検討する。 ○次回協働会議:平成26年10月頃(予定)

会議内容（要旨）

（１）会長・副会長の選任

- ・会長は、酒井修委員の推薦により、全会一致で鈴木誠委員に決定。
- ・副会長は、会長推薦により、富田育男委員に決定。

（２）市民協働まちづくり会議の経緯等について【資料1－1】【資料1－2】

（説明：事務局）

（３）田原市の市民協働まちづくり方針について【資料2】

（説明：事務局）

- ・（２）、（３）を併せて、市民協働まちづくり会議の位置づけ及び役割、市民共同事業の展開を説明。

（４）市の機関の取り組みについて【資料３】（説明：中村委員）

- ・平成２６年度の市の主な取り組みについて、資料３により説明。

（５）平成２６年度市民協働事業について【資料４－１】～【資料８】（説明：事務局）

- ・支援策について、メニュー紹介及び実績の報告。
- ・補助制度は団体にとって利用しやすい制度を目指し、平成２６年度小額事業については書類審査のみとして、随時応募の先着順とした。
- ・委託事業には応募件数の実績がないことが課題。本年度も現時点で応募なし。

委員意見

意見）男女共同参画は、わかりにくい。応募団体の規模や内容を見直すなどが必要。

次回検討事項

- 今年こそ支援制度を利用してもらえるようにするにはどうしたらよいか。
- 優良事例の紹介や他市町村の事例を踏まえ、市民活動を広げるには何が必要であるのかを委員さんの協力等のもと事務局として今一度検証する。

（６）意見交換

- 地域と NPO との協働があまり進んでいないように感じる。
- 市民協働の制度を運用しきれていない地域側の課題とそれを徹底しきれていない行政側の課題がある。
- 地縁を基礎として活動している団体とそうでない団体とあるが、田原での市民活動をひろげていくために必要なことは何か。
- 制度設計は十分にあるので、それを運用するための誘導策、初めの一步を踏み出せるような支援体制が必要。
- 本年度から田原でささえあいネットという地域サポートシステムが始まる。社会福祉協議会だけで実施するのは難しいと思うので、協力して行わないといけないと思っている。

（７）その他

- 第１９回協働会議 平成２６年１０月頃（予定）

配布資料

- 【パンフレット】田原市市民協働まちづくり条例「概要版」
- 【資料１－１】田原市市民協働まちづくり会議の経緯
- 【資料１－２】協働事業の展開
- 【資料２】市民協働まちづくり方針（ポケット版２０１４）
- 【資料３】市民協働まちづくり方針に基づく市の機関の取組
- 【情報誌】市民活動だより vol. 19
- 【資料４－１】市民協働まちづくり事業補助金の実績
- 【資料４－２】市民協働まちづくり事業補助金の状況報告
- 【資料５】市民活動向上事業補助金の実績と状況報告
- 【資料６】新規団体・人材養成活動補助金の実績と状況報告
- 【資料７－１】市民提案型委託事業の実績と状況報告
- 【資料７－２】平成２６年度市民提案型委託事業（テーマ提示型）応募要領
- 【資料８】市民活動チャレンジ支援補助金

新任委員の方のみ配布

- 【参考１】田原市市民協働まちづくり条例について
- 【冊子】田原市の市民協働まちづくり方針（平成２５年３月）